

科目名称	コミュニケーション論	学年学期	単位数	時間数
		1	1	15
担当教員	高橋 平徳	授業に関わる実務経験	<input type="checkbox"/> 有 () <input checked="" type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

対人コミュニケーションの理論と対人関係技法の基礎を学び、看護における様々な対象や組織でのコミュニケーション能力を高める基盤とする。

【2】 学習目標

1. コミュニケーションの概要と基礎的理論について説明することができる。
2. コミュニケーションのさまざまな技法について説明することができる。
3. さまざまな場面でコミュニケーションの技法を活用することができる。

【3】 第2看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳および権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種の連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	授業の概要説明、コミュニケーションの概要、看護における重要性	講義・演習
2	非言語コミュニケーション:表情、装い、色彩	講義・演習
3	非言語コミュニケーション 2:身振り、姿勢、匂い、パーソナルスペースと空間	講義・演習
4	言語コミュニケーション	講義・演習
5	傾聴と共感、カウンセリングと治療的コミュニケーション	講義・演習
6	専門職連携のためのコミュニケーション、グループダイナミクスとコミュニケーション	講義・演習
7	組織のコミュニケーションを高める心理的安全性	講義・演習
8	試験・まとめ	

【5】 評価方法

授業の中で学習活動への参加(30%)、授業のリフレクション(40%)、最終テスト(30%)

【6】 教科書

指定なし

【7】 参考書

内藤知佐子・高橋聖子・高橋平徳「看護を教える人が発問と応答のスキルを磨く本」医学書院 2023年
各授業時に資料、ワークシート等を配付します。

【8】 受講生へのメッセージ

看護現場において、看護師は患者、患者の家族、他の看護師、他の職種の専門職などさまざまな対象とのコミュニケーションが求められます。この授業では、看護師として必要な、コミュニケーションの基礎的理論、さまざまな技法を学び、他者や組織の中でのコミュニケーションを行っていくための技能を身につけます。